図書館情報学橘会会報 第24号(通号30号)

2018年12月発行

発行者 図書館情報学橘会

図書館情報学橘会 会長に就任して

寺沢 白雄(図書館情報大学1984年卒業)

このたび、2018年7月の図書館情報学橘会総会にて会長に就任いたしました。

微力ではありますが、同窓会の活動が充実するように努めていきますので、会員の皆様をはじめ、 関係する方々のご協力を賜りますようお願い申し 上げます。

図書館情報学橘会は、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類及び筑波大学大学院図書館情報メディア研究科の同窓会であり、知識情報・図書館学類及び図書館情報メディア研究科の前進機関である図書館情報大学、またさらに前身となる文部省図書館員教習所、図書館職員養成所、図書館短期大学等の卒業生からなる歴史ある同窓会です。

本会の会員の皆様は、各学校をご卒業後、図書 館並びに図書館に関連するところで仕事をされて いる方、図書館とはまったく異なる分野で活躍さ れた方など様々かと思います。

私の経歴は、前々号にて森茜名誉会長が会長職の際に、卒業生の近況としてご報告いただきましたとおり、大学を卒業後約35年間、主に大学の事務職を経験してきましたが、図書館に勤務することはありませんでした。とはいえ、仕事の中で、自大学の図書館との連携、図書館の職員の方への仕事の協力依頼などはありましたので、ある意味図書館に近い場で仕事をしてきたともいえます。

今回の会長に就く3ヶ月前、2018年4月から仕事人生で初めて「図書館」の名前を背負う部署の部長に就いたところに、森茜前会長から会長職への打診がありました。図書館情報大学を卒業以来、図書館情報大学同窓会の立ち上げ、前身の図書館短期大学までの同窓会であった橘会の歴代の会長の方々との交流、そして図書館情報大学同窓会と橘会の統合、大学の筑波大学との統合に伴う茗渓会の支部としての参加と離脱、それぞれの場にい

た一人として、今回の会長職の打診をお受けし、 総会にてご承認いただいたところです。

これまで先輩方が構築されてこられた図書館情報学橘会の長い歴史と数々の事跡を鑑みて、本会の活動を多くの会員、卒業生の方に認知していただくとともに、新たな卒業生の母校となる筑波大学のますますの発展に貢献したいと思います。現在、情報技術の進展に伴い、私たちの学生時代には無かった様々な技術が世に出ています。それに伴い筑波大学の図書館情報メディア系も変化していくと思われます。今後も図書館情報学橘会として発展変化をする筑波大学を支援していきます。

今、この場に私がいられるのは、橘会の会長、 役職として直接ご指導賜った鈴木英二先生、岩淵 泰郎先生、石山洋先生、井上哲也先生、また図書 館情報大学と橘会の統合にご尽力いただいた吉田 政幸先生など諸先輩方のお力添えのおかげです。 すでに鬼籍にはいられており、お礼の言葉は直接 申し上げられませんが、この場を借りて御礼申し 上げます。

また、本会の顧問の植松貞夫先生、磯谷順一先 生、中山伸一先生、名誉会長の高鷲忠美様、森茜 様にも大変お世話になっています。

そして、これまで図書館情報学橋会の活動の中で様々な形でご協力、ご助言を大変多くの人からいただいてきました。皆様のご尽力に深謝するとともに、これからは茂出木副会長、平久江副会長並びに理事の協力を得ながら、会長職を務めてまいります。

どうぞ、今後の本会の活動にご協力いただけますようお願いいたします。

図書館情報学橘会 副会長に就任して

平久江祐司(図書館情報大学大学院 1996 年修了)

この度副会長になった図書館情報メディア系教 授の平久江祐司です。以下で簡単な自己紹介と着 任のご挨拶をさせていただきます。

わたくしは,図書館情報大学修士課程図書館情 報学研究科に 1994 年に入学しました。思い返す ともう大変古い話になってしまいましたが、在学 中は植松貞夫先生, 佐藤隆司先生, 寺田光孝先生, 根本彰先生, 薬袋秀樹先生, 山本順一先生等々図 書館情報学の錚々たる先生方から様々なご指導を 受け,図書館情報学への深い見識の一端に触れる ことができましたことを今でも深く感謝しており ます。特に薬袋秀樹先生からは徹底した論文指導 をして頂き, その経験が現在の職に大変役立って います。こうした懐かしい思い出と同時に、1998 年に図書館情報大学に専任講師として着任して以 来現職として学生の学習・研究指導に尽力をいた しております。わたくしは図書館情報学において 学校図書館の領域を専門に研究しております。現 在は科研費研究「アクティブラーニングを支援す る学校図書館ラーニングコモンズ構築に関する研 究」を中心に学校図書館の今後の在り方について 研究を進めていますが, 定年まであと数年という ところまで来ており、たぶんこれが最後の研究テ ーマとなりそうです。

橘会との直接的な係わりは、ここ数年大学側の 現職の理事として教育等に関する事務的な仕事の お手伝いをしてきましたが、二年ほど前に大病を して手術をし、その後の療養もあり、あまり尽力 できない状況で今日に至っております。その節は 他の理事の方々に大変ご迷惑をおかけしたものと 恐縮しております。昨今ようやく健康も回復して きましたので、これを機に副会長としての任を全 うしていきたいと思っております。今後ともよろ しくお願いいたします。

茂出木理子 (図書館情報大学 1985 年卒業)

昨年から橘会副会長に就任していましたが、会報でご挨拶させていただくのは今回初めてとなります。現在、東京工業大学図書館に勤務しています茂出木です。橘会には10年ほど前から理事として関わらせていただいてきました。森茜前会長からの「ちょっとお願いしたいことがあるのだけど…」のお電話がきっかけでしたが、その時の緊張感は今も忘れられません。

寺沢会長のご挨拶文にもある通り、橘会は文部省図書館員教習所からつながる歴史ある同窓会ですが、改めてそのことを実感したのは、2012年10月に公開シンポジウムとして開催した「一絆一図書館と震災を語り継ぐ」の司会をさせていただいたときでした。多くの先輩方の「これまで」と後輩たちの「これから」と繋ぐということが、私たち世代に託された責務かと感じています。

寺沢会長,平久江副会長,理事のみなさまや橘会会員のみなさま、そして母校の教職員のみなさまとアイデアをしぼり、同窓会としての繋がりを深めていければと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



図書館情報学橘会 会長退任のご挨拶(前会長、現名誉会長 森茜氏)

私がこの会とかかわりを持ったのは1998年頃のことだ。図書館情報大学が、開学20周年・創基80周年を迎えんとし、大学院博士課程の創設に向けて気合を入れていた頃だ。そして、2002年図書館情報大学と筑波大学は統合し、図書館や知識情報にかかわる学問は、筑波大学の中で発展し、今や、グローバル化する情報化社会の中で進化・変貌し、新たな地球規模的役割を担いつつある。この20年の間で、卒業生たちの働く場も大きな構造変化を見せ、情報化社会の中核を担う職域へと拡がりつつある。退任後も卒業生達の活躍を応援する気持に変わりない。

素晴らしき先輩達の心意気を繋いでいきたい 日本経済新聞社で新分野を開拓する神田茂さんのこと

図書館情報学橘会名誉会長 森 茜している。

筑波大学という総合大学の中で"図書館情報メディア"を専攻する最近の学生は、自分の職業上の中核を必ずしも"図書館"に固執することなく、幅広い分野に活躍の場を求めているようだ。そのことを私は喜ばしく思っている。社会が地球丸ごと情報化してしまっている今の時代にあって、"知識"と"情報"に基盤を置き、社会のあらゆる分野で通用する人材になることこそ、"図書館情報メディア"の卒業生の強みだと思うからだ。

しかし、図書館情報大学が創設された 1980 年代にそのような生き方をする学生はとても数が少なかった。 今回、紹介する神田茂さんは、そのような開拓精神に富んだ先輩の一人だ。神田茂さんは 1985 年の卒業 (図情大 2 期生) で、日本経済新聞社(日経新聞社)にマクロ経済に関するデータ整備担当として入社した。

しかし、入社後3年も経ないで「営業」部に異動させられた。当時の図情大卒業生の多くは図書館勤務で、それが一種の美学だった。そのような中で、突如営業に廻された彼は、折れることなく、日経新聞社の扱う商業データベースの販売に勤しんだ。彼が作成担当したマクロ経済のデータベースもあるが、日経新聞社が商品として取り扱う全てのデータベースだ。

今でこそ商業データベースの重要性が認識されているが、私が彼に出会った当時、つまり私が橘会の理事に参加した頃、そして図情大と筑波大の統合間もない頃は、新聞社の営業マンは、卒業生の進路としては異色中の異色だった。全国の大学や企業等に日経新聞社の商業データベースを売りまくっていた。

営業マンと言えば、一見、定見のない調子ものと思われがちだが、知識と情報学に裏付けられた的確なプレゼンスがあって、初めて成功する仕事であろう。 当時、経済成長さなかのわが国では、大学では経済データを実証分析が盛んになり、金融機関が経済分析を重視するようになった時だ、マニュアルでは対応できない顧客の要求に応えるため、必死に勉強した、と述懐

20年近く、データ整備部と営業部を行ったり来たり、 東京と大阪を行ったり来たり、異動を繰り返していた が、2008年、グループ会社の管理部門人事部へ移動を 命じられた。人事部から総務部へ異動し、人事・労務。 総務、経理と、管理全般を担当する管理部長に就任し た。年金制度への対応や労働組合との交渉も初めての 経験だったと振り返る。

この管理部長時代に、彼は、一段と大きな人物になったと、橘会の仕事を一緒にしながら、私は感じていた。社屋の移転も経験し、人と仕事と経営が有機物であることを体得し、一回りも二回りも大きな発想を身に着けて行ったように思われる。特に、管理部長になって3年目に経験した東日本大震災の経験は、企業人として社会で生きるとはどういうことかを、深く考えさせる機会を彼に与えたようである。

彼は、常日頃、大学の図書館には多くの"仲間" が中間管理職等になっており、公共図書館にも多くの "仲間"が館長などで活躍している、と言っている。 データベースの営業で得た顧客をも"仲間"として意 識する彼の発想は、企業人としての成長の証である。

2011年、日経新聞社本社に戻り、以来、日経電子版の営業や複合メディア推進部を経て、昨年から、インデックス事業室でライセンスビジネスを担当している。 橘会では、長年、名監事として、決算報告の都度、 貴重な仕事をしてくれている。

彼の話を聞いていて最も心に響くのは、学生4年次に、日経のグループ会社でデータベースの仕事に就きたいと担当教員に相談に行ったところ、「その会社は日経の子会社だから、親会社の日経を目指したらどうか」と言われたことが、マスメディアを目指すきっかけだったとの話だ。教師が如何に大きな人生を目指させるかが、学生の底力を開花させることに改めて感動したものである。

平成30年度(通算第21回)総会の記録

〈日時〉平成29年7月8日(日)

〈会場〉 筑波大学東京キャンパス文京校舎 121 講義室 〈出席者〉 理事・監事を含め、16名

〈総会議事〉

- (1) 開会の辞(寺沢白雄副会長)
- (2) 開会挨拶(森茜会長)
 - ・ 茗渓会から独立した任意団体としての運営体制の整備 のため、講演会などの活動が十分にできなかった。
 - ・大学組織と連携した活動を、今後進めてゆきたい。
- (3) 来賓紹介・挨拶
 - ・筑波大学図書館情報メディア系の平久江祐司教授が、 来賓として紹介された。
 - ・平久江教授の挨拶の中で、大学が現在、学位プログラム制移行の段階にあること、学類の名称も大学が独自に決める制度になったこと、学位や学類の名称は情報学を柱にした方向で検討されていることなど、大学の最近の動向が紹介された。
- (4) 橘会会則第19条により森茜会長を議長に選出。
- (5) 議事

1) 平成29年度事業報告及び決算報告

1. 事業報告

- (1) 平成29年7月16日に通算第20回総会を開催
- (2) 筑波大学行事への参加: 平成29年度卒業式(学位 授与式、平成30年3月23日) に寺沢副会長が出席
- (3) 会報第22号(平成30年1月), 第23号(平成30年3月)の発行
- (4) 公開講演会の開催

日時: 平成29年7月16日(日) 14:00~15:30 講師: 呑海 沙織(筑波大学図書館情報メディア系 教授)

演題:超高齢社会と図書館

- (5) 全卒業生交流会「大橘会」(だいたちばなかい 第 8回)の開催
- *森会長より、平成 29 年度総会以後、橘会は茗渓会を離れた任意団体であり、卒業生の入会動向(茗渓会/橘会)を把握する必要がある、と補足があった。
- 2. 決算報告… (別項の通り)

2) 第8期役員改選

森茜会長より、以下の異動が報告された。

- ・第7期役員(任期: 平成28年7月11日~平成30年7月8日)の中で理事2名が退任となる。
- 森茜会長が退任。
- ・寺沢白雄副会長が新会長に就任。
- ・平久江祐司教授が理事・副会長に就任。
- ・千錫烈・宮原柔太郎両氏が新理事に就任。

3) 名誉会長について

寺沢新会長より、森茜前会長が名誉会長に推薦された。

4) 平成30年度事業計画案及び予算案

1. 事業計画

- (1) 独立した同窓会組織としての運営体制の確立・整備
- (2) 会員の一層の拡充
- (3) 会報の発行
- (4) 公開イベントの開催
- (5) 全卒業生交流会「大橘会」(第8回)の開催
- (6) 筑波大学校友会 及び 同窓生各グループ活動との 連携
- (7) その他

2. 予算案… (別項の通り)

*前年の総会案内状発送の際、年会費3,000円であるところ、3,500円と誤記していたため、102名に過払いが発生した。過払い分が差し引きゼロになるよう、次年度の会費納入依頼時の金額調整で対応することが報告された。

5) 役員の態勢

寺沢新会長より、会則により役員は 25 名以内で理事会で選任できることから、現在 19 名の役員の体制の強化をはかることが報告された。

以上の議案について異議なく了承された。

6) その他(自由討議)

今後の活動について以下の様な自由討議が行われた。

- ・学位プログラム公表後、学類の名称とともに同窓会の 新名称も検討が必要になる。
- ・改革期の母校を応援できる態勢をとっていきたい。
- ・在学生に向け先輩の活動現場を伝えることが有効。
- ・入学時から学生会員を募集することも有効。
- ・大学の体制とも協調し、卒業生を同窓会にとりこむた めの情報収集活動を進めたい。

(橘会理事 城谷浩「図情大 昭和59])

◇平成 29 年度決算報告◇

収入の部		支	出の部
繰越	7,538,249 円	支出	724,363 円
収入	954,512 円	次年度繰越	7,768,398 円
合 計	8,492,761 円	合 計	8,492,761 円

内訳

収入の部

項目	決算額
繰越	7,538,249 円
会費	423,000 円
維持費	350,000 円
寄附金	181,467 円
雑収入	45 円
小 計	954,512 円
収入 合計	8.492.761 円

支出の部

百日	油 答如
項目	決算額
広報費	22,982 円
印刷製本費	302,841 円
通信費	320,473 円
貸借費	12,938 円
大学支援費	0 円
諸謝金	0円
慶弔費	37,670 円
消耗品費	3,955 円
諸経費	23,504 円
支出 合計	724,363 円
予備費	0円
次年度繰越	7,768,398 円
計	8,492,761 円

◇平成30年度 予算◇

収入の部

項目	予算額
前年度繰越	7,768,398 円
会費	350,000 円
維持協力費	340,000 円
寄附金	120,000 円
雑収入	1,000 円
小 計	811,000 円
収入 合計	8,579,398 円

支出の部

項目	予算額
広報費	30,000 円
印刷製本費	350,000 円
通信費	350,000 円
貸借費	20,000 円
大学支援費	100,000 円
諸謝金	100,000 円
慶弔費	50,000 円
消耗品費	10,000 円
諸経費	30,000 円
支出 合計	1,040,000 円
予備費	7,539,398 円
計	8,579,398 円

平成30年度分会費納入のお願い

今年度会費未納入の会員におかれましては、以下の郵便振替口座または銀行口座宛に納入くださるよ うお願いいたします。なお、通常会員の会費は3,000円です。また通常会費完納者(35回分納入済み の方)には、橘会円滑な運営のため橘会固有の協力会費 2,000 円を維持費としてお願いしています。

(郵便振替)

(銀行振込)

口座番号 00110-5-656101 ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキユウ店)

加入者名 図書館情報学橘会

口座番号 0656101 預金種目 当座

口座名義 トショカンジョウホウガクタチバナカイ

*「振込依頼人名」欄に会員番号の入力をお願いします。

*「振込依頼人名」欄に会員番号の明記をお願いします

◇知識情報・図書館学類の状況:平成30年度◇

筑波大学 情報学群 知識情報 · 図書館学類長 歳森 敦

1) 在籍者数

H30.5.1 現在

区 分	人数(内女性)	男性比
1 年	108 (56)	48. 1%
2 年	107 (50)	53. 3%
3 年	112 (70)	37. 5%
4 年	144 (75)	47. 9%
合計	471 (251)	46. 7%

※定員 100 名+3 年次編入 10 名

2) 主専攻別人数(3年次に主専攻に配属)

主 専 攻	教員	3年	4年
知識科学	15	24	36
知識情報システム	16	43	52
情報資源経営	15	46	55

3) 進路状況

H30. 5. 1 現在

進路	H28	H29
企業	56 (48. 7)	62 (57. 9)
図書館・公務員・教員	24 (20. 9)	15 (14. 0)
大学院進学	24 (20. 9)	18 (16. 8)
研究生	1 (0. 9)	2(1.9)
就活中	6 (5. 2)	5 (4. 7)
公務員試験等受験予定	3 (2. 6)	1 (0. 9)
進学準備	1 (0. 9)	1 (0. 9)
その他	0 (0.0)	3 (2. 8)
合計	115 (100)	115 (100)

※カッコ内は比率

4) 国際インターンシップ

留 学 先	H29	H30
上海図書館	0	0
釜山大学	0	0
ピッツバーグ大学	1	1
シュトゥットガルト大学	2	2
合計	3	3

5) 入試志願者数

区分	定員	H28	H29	H30
AC	5	19 (3. 8)	12 (2. 4)	14 (2. 8)
推薦	30	44 (2. 2)	23 (1. 2)	32 (1. 1)
前期	50	151 (2. 5)	209 (3. 5)	165 (3. 3)
後期	15	109 (7. 3)	124 (8. 3)	104 (6. 9)
全体	100	323 (3. 2)	323 (3. 7)	315 (3. 2)
編入	10	37 (3. 7)	43 (4. 3)	37 (3. 7)

※カッコ内は倍率(志願者数/定員)

6) 異動

〇退職 2018.3.31 松本浩一教授、水嶋英治教授、

Lo Patrick 助教

新任 2018.4.1 Sarcar Sayan 助教

全国的に就職状況が堅調な中,平成29年度の卒業生は企業系への進路が過半を超えました.相対的に図書館・公務員や大学院進学が減少しています.

平成30 年度入試では、推薦入試の定員を10増加させ、前期日程の定員を10減少させましたが、29年度に引き続き推薦入試の倍率が低迷しています。この秋に実施する平成31年度入試では、推薦入試の面接を個別面接からビブリオバトルを用いた集団面接形式に変更します。大学進学者の長期的な減少が予想されている中で、志願倍率を維持しつつ、学類としての特色を出すことに苦慮している状況です。

図書館情報学橘会 第8期役員等

(任期 平成30年7月8日~平成32年7月7日)

森茜氏は会長職を 5 期 10 年 (平成 20 年 7 月~平成 30 年 7 月) 勤められ、平成 30 年度総会にて名誉会長に推薦、承認された。

名誉会長

高鷲 忠美 (養39別[1964])

森 茜 (短 40 特[1965] 公益社団法人 日本図書館協会)

顧問

植松 貞夫 (筑波大学名誉教授)

磯谷 順一 (筑波大学名誉教授)

中山 伸一 (筑波大学教授)

会 長

寺沢 白雄 (大 59[1984] 実践女子大学)

副会長

茂出木理子 (大60[1985] 東京工業大学附属図書館)

平久江祐司 (院 平8[1996] 筑波大学図書館情報メディア系)

理 事

泉沢久美子 (短50文[1975])

大場 高志 (短51別[1976])

加藤 信哉 (短 51 図[1976] 国際教養大学)

村井 友子 (大59[1984] 日本貿易振興機構 アジア経済研究所図書館)

川本 清文 (大60[1985] 日本オラクルインフォメーションシステムズ合同会社)

小池 信彦 (大60[1985] 調布市立図書館)

城谷 浩 (大60[1985] 日外アソシエーツ株式会社)

神谷 晋 (大62[1987] 株式会社シンコー)

和知 剛 (大63[1988] 郡山女子大学図書館)

近藤真智子 (大 平7[1995] 東京大学附属図書館)

岡田 英孝 (院 平7[1995] 東京医科大学)

三浦 敬子 (院 平 9[1997] 公益社団法人 日本図書館協会)

河手 太士 (院 平10[1998] 天使大学 図書情報課)

千 錫烈 (筑 平19[2007] 関東学院大学 社会学部)

柴田 大輔 (筑 平 20[2008] 東邦大学医学メディアセンター)

宮原柔太郎 (筑 平 22[2010] 日本体育大学 図書館課)

片山 ふみ (筑 平 26[2014] 聖徳大学 文学部)

松野 渉 (筑 平 26[2014] 筑波大学附属図書館)

監 事

遠藤 茂樹 (短51別[1976])

神田 茂 (大60[1985] 株式会社日本経済新聞社)

【卒業時の学校名の略】

「養」文部省図書館職員養成所 「別」図書館短期大学別科

「短」図書館短期大学 「大」図書館情報大学

「図」図書館短期大学図書館学科 「院」図書館情報大学大学院

「文」図書館短期大学文献情報学科 「筑」筑波大学大学院

(平成30年10月3日現在、下線は新任)

◆ 橘会会報やホームページにご寄稿ください ◆

同窓会・クラス会や、同窓会員・卒業生のみなさまの活動を、是非ご寄稿ください。 ホームページ https://tachibana-kai.com/ からお問い合わせください。

橘会ホームページ(トップページ)→ お問合せ(お問合せフォーム) 橘会事務局 E-mail info@tachibana-kai.com

◇ 会員現勢 ◇

1. 会員数

1,448名(平成30年10月1日現在)

2. 卒業校別内訳

卒業校	人数	卒業校	人数
文図講習所	40	図大図情	518
文図養成所	48	図大図情修	17
文図養成 A	124	図大博前期	10
文図養成 B	34	図大博後期	1
文図養成1B	3	筑図	134
文図養成 2 B	5	筑博図情修士	3
図短付養成	15	筑博図後期	3
図短図書館	246	筑博図情前期	4
図短文献情	63	筑図情専門学群	2
図短特養課	94	筑知情図学類	71
図大図情専	10	筑図情メ研科	3
		合計	1,448

図書館情報学橘会

〒305-8550 つくば市春日 1-2 E-mail info@tachibana-kai.com 公式ホームページ https:// tachibana-kai.com/

 $F\ a\ c\ e\ b\ o\ o\ k \\ \ \ \ https://www.facebook.com/lib.info.tachibanakai/$

発行: 2018年12月25日